

2025 年度 全国学生調査結果 講評

宇都宮短期大学（音楽科、人間福祉学科、食物栄養学科）

自己点検評価委員会

1. 全体的な評価

今年度は、3 学科ともに回答率は 100%であった。全体を通して、問 1・3・4 では、一部を除いて、80～100%の肯定的な評価を得た。特に、問 1 では「1-1 理解しやすい教え方の工夫」(100%)、「1-3 提出物に対する適切なコメント付きの返却」(94.3%)、「1-4 グループワークやディスカッション機会の提供」(94.3%)、及び「1-5 質疑応答などの教員との意見交換の機会」(92.4%)においては、教員が手厚く学生の学習支援を行い、共に学び合っていることがうかがえた。

問 3 では、「3-1 専門分野に関する知識・理解」(100%)、「3-2 将来の仕事につながる知識・スキル・態度・価値観」(100%)、「3-9 他者と協働する力」(96.2%)、「3-10 幅広い知識・ものの見方」(96.2%)は高い評価であった。専門分野に関する知識やスキル、他者との協働意識など、確かな力をつけられていると感じており、専門的なキャリアにつながる特色ある教育が実施できているといえる。問 4 においても、「4-1 卒業までに身につけるべき知識や能力を意識した学修」(94.3%)、「4-3 教職員の熱心な教育への取り組み」(96.2%)、「4-4 大学の学びによって成長を実感」(100%)と評価は高かった。学生自身が学びに対する姿勢を意識して学修し、その成長を実感していた。

一方、評価が低かった問 2 のインターンシップや海外留学・海外研修、英語による授業の履修については 6 割以上が経験していないと回答している。また、問 5 の後期の授業期間中の 1 週間の生活時間では、部活やサークル活動が少なく、8 割の学生が時間差はあるもののアルバイトをしており、予習・復習・課題や自主的な学習時間が少ないことが分かった。

2. 評価すべき点

音楽科で高い評価を得た項目は、「1-3 講義等の提出物に適切なコメントが付されて返却される」、「3-3 文献・資料を収集・分析する力」、「3-9 他者と協働する力」、「3-10 幅広い知識・ものの見方」、「3-11 異なる文化に関する知識・技術」、「4-1 卒業までに身につけるべき知識や能力を意識した学修」「4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる」であった。このことより、音楽という分野において、様々な音楽や異文化に関する文献・資料を収集・分析し、その背景等を学ぶと共に他者との協働能力を育成していると評価されたと思われる。

人間福祉学科では、「1-4 グループワークやディスカッションの機会がある」「1-5 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある」、「3-9 他者と協働する力」「3-10 幅広い知識・ものの見方」、「4-1 卒業までに身につけるべき知識や能力を意識して学修している」「4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる」は肯定率 100%であった。また、「1-2 予習・復習などの授業外時間に行うべき学習が指示される」「4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育がよくなっている」も高い評価を得た。本学科は、対人サービスとしてコミュニケーション力や他職種との連携が必要なことから、教員・学生ともにその大切さを意識して授業を行い、効果を上げているものと思われる。

食物栄養学科では、「1-2 予習・復習などの授業外時間に行うべき学習が指示される」以外は、高い評価を得た。上述の「1-1」、「3-1」、「3-2」のほか、「3-3 文献・資料を収集・分析する力」「3-4 論理的に文章を書く力」「3-9 他者と協働する力」「3-10 幅広い知識・も

のの見方」、「4-1 卒業までに身につけるべき知識や能力を意識して学修している」「4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる」等も肯定率 100%であった。「4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育がよくなっている」と「3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識」も 80%以上の学生が高く評価している。栄養士国家資格の取得に向けて、教員だけでなく学生自身も理論と実践力の必要性を強く意識して、ともに学んだ結果と思われる。

3. 今後の課題と対策

音楽科は、「1-2 予習・復習などの授業外時間に行うべき学習が指示される」、「3-6 外国語を使う力」、「3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」、「4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育がよくなっている」の 4 項目の肯定率が低かった。予習・復習については、フィードバックの仕方も含めて各教員の示し方をより明確するよう促していく。また、論理的に文章を書く力や人にわかりやすく話す力、外国語を使う力などは社会人としての教養として、また教員を目指す学生も多いことから基本的な能力の向上を図る必要がある。講師会などでアンケート結果を非常勤にも周知し、学科及び科目レベルでの課題として対策を講じる。

人間福祉学科では、授業外時間（予習・復習）の確保が課題としてあげられる。この点は、専任教員のみならず、非常勤の先生方と講師会等を通じて共有していきたい。

食物栄養学科では、「1-2 予習・復習などの授業時間外に行うべき学習が指示される」と「3-6 外国語を使う力」の肯定率が低く、課題としては、「授業時間外学習（予習・復習）の指示」と「外国語を使う力の向上」があげられる。学内で実施した授業評価アンケートでは、「課題が多く出されている」の回答が多数ある一方、本調査では予習・復習の指示は「あまりなかった」が多数あることから、各授業で出される課題（レポート・小テスト対策等）を「予習・復習」と認識していない可能性が考えられた。外国語運用能力については、食分野は今後、海外との関わりが増える可能性があるため、基礎的な語彙の習得が必要であると思われ、対策を検討していく。

一方、問 2 は 3 学科ともに肯定率が低かった。本学では、インターンシップを推奨しているものの、受入れてくれる施設や企業が少ないのが現状である。このため、校外実習と混同して回答していると思われた。海外留学・海外研修も推奨しているが、海外研修に参加した学生は 5 名であった。また、本学は英語で行われている授業は、語学以外は科目設定していない。設問を正しく理解して回答するように促していきたい。

問 5 の後期の授業期間中の 1 週間の生活時間では、3 学科ともに 8~9 割が部活やサークル活動をしておらず、逆に 8 割の学生が時間差はあるもののアルバイトをしていた。このことから予習・復習・課題や自主的な学習時間が少ないものと考えられた。後期は、学科により校外実習や各種試験対策、卒業演奏会等、行事が異なることから、特に、自主学習に関する時間の使い方について一緒に考えていきたい。

2025 年度 全国学生調査回答結果

[学 科] 音楽科・人間福祉学科・食物栄養学科

[学 年] 2年（最終学年）

[回答率] 音楽科 100%、人間福祉学科 100%、食物栄養学科 100%
 ※学生数に差があることから、データは3学科をまとめて示している。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

項目	よくあった	ある程度あった	あまりなかった	なかった
1-1 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。	45.3%	54.7%	0.0%	0.0%
1-2 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。	26.4%	43.4%	30.2%	0.0%
1-3 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。	41.5%	52.8%	5.7%	0.0%
1-4 グループワークやディスカッションの機会がある。	43.4%	50.9%	3.8%	1.9%
1-5 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。	35.8%	56.6%	5.7%	1.9%
1-6 ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。	32.1%	47.2%	13.2%	7.5%

問2 大学在学中に経験した以下の項目は、どの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は0を選択してください。

項目	有用だった	ある程度有用だった	あまり有用ではなかった	有用ではなかった	経験していない
2-1 インターンシップ（5日間以上）	18.9%	9.4%	0.0%	0.0%	71.7%
2-2 海外留学・海外研修（短期も含む）	1.9%	5.7%	0.0%	1.9%	90.6%
2-3 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）	5.7%	20.8%	11.3%	0.0%	62.3%

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

項目	身に付いた	ある程度身に付いた	あまり身に付いていない	身に付いていない
3-1 専門分野に関する知識・理解	52.8%	47.2%	0.0%	0.0%
3-2 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	54.7%	45.3%	0.0%	0.0%
3-3 文献・資料を収集・分析する力	26.4%	66.0%	7.5%	0.0%
3-4 論理的に文章を書く力	20.8%	62.3%	17.0%	0.0%
3-5 人にわかりやすく話す力	26.4%	54.7%	18.9%	0.0%
3-6 外国語を使う力	1.9%	17.0%	41.5%	39.6%
3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	13.2%	37.7%	35.8%	13.2%
3-8 問題を見つけて解決方法を考える力	26.4%	62.3%	7.5%	3.8%
3-9 他者と協働する力	58.5%	37.7%	1.9%	1.9%
3-10 幅広い知識、ものの見方	50.9%	45.3%	1.9%	1.9%
3-11 異なる文化に関する知識・理解	35.8%	49.1%	7.5%	7.5%

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

項目	そう思う	ある程度 そう思う	あまりそうは 思わない	そうは 思わない
4-1 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。	41.5%	52.8%	5.7%	0.0%
4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。	22.6%	47.2%	26.4%	3.8%
4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。	45.3%	50.9%	3.8%	0.0%
4-4 大学の学びによって成長を実感している。	37.7%	62.3%	0.0%	0.0%

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

項目	0時間	1-5 時間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	21-30 時間	31時間 以上
5-1 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)	0.0%	7.5%	20.8%	20.8%	30.2%	17.0%	3.8%
5-2 卒業論文・卒業研究・卒業制作	79.2%	9.4%	5.7%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%
5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文は除く)	7.5%	75.5%	11.3%	1.9%	3.8%	0.0%	0.0%
5-4 授業とは直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)	18.9%	45.3%	13.2%	13.2%	3.8%	3.8%	1.9%
5-5 部活動／サークル活動	84.9%	9.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5-6 アルバイト／定職	20.8%	7.5%	18.9%	28.3%	18.9%	3.8%	1.9%